



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2018年2月3日(土) 10時00分～15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／8名(うち午前のみ4名、午後のみ1名)、 魚住まち協／4名(うち午前のみ1名、午後のみ1名)、 一般参加者／3名(小・中学生姉弟) 事務局／1名、 計／16名

● 午前

1月の活動が正月休みだったため、今日は2018年最初の金ヶ崎公園の活動になりました。今朝の最低気温が0℃と冷え込みの厳しい中、今日の活動にはエコウイング会員、魚住まちづくり協議会の皆様、その他の一般市民の小・中学生の姉弟など、14名の皆様に集まっていただきました。

いつものとおり、朝10時から公園の会議室でミーティングをした後、全員で公園内を巡って自然観察をしました。今日は節分で、暦の上では冬が終わる日ですが、日本列島に寒波がやってきていることもあり、まだまだ気温も低く、昆虫はほとんど姿を見せませんでした。それでも、生き物好きの小中学生の鋭い観察眼で、カメムシやクモのなかま、ガの繭などを見つけてくれました。

昼休みには、温かい「おでん」の差し入れがあり、みんなで談笑しながらの楽しい昼食となりました。

● 午後

午後は参加者の入れ替わりがあり、メンバーが10名に減りましたが里山整備の活動に取り組みました。今日も、公園西側の雑木林の斜面で、常緑樹の除伐やネザサの下刈りなどの作業をしました。小中学生の3姉弟も、一生懸命に木を切る作業などに頑張ってもらいました。

最後に、冬の里山をバックに集合写真を撮ったあと、定刻の午後3時にケガなどもなく今日の活動を終了しました。

- 次回の活動は3月3日(土)の「桃の節句」の予定です。色々と春の気配も感じられる季節になっていることと思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



おでんを食べながらの談笑



里山整備作業(その1)



里山整備作業(その2)



里山整備作業(その3)



里山整備作業(その4)



里山整備作業(その5)



整備作業終了後の集合写真



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

寒波の中での金ヶ崎公園は、最高気温も8℃ほどまでしか上がらず、昆虫はほとんど姿を見せてくれませんでした。その中で、小中学生姉弟の参加者が、樹木の名札の裏の青クサカメムシや落ち葉の間の繭を見つけました。繭はヤマユガのものと思われる。カマキリのなかまの卵も見つかりました。

アオクサカメムシ



ヤマユガの繭



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ハラビロカマキリの卵



オオカマキリの卵



野鳥では、冬鳥のジョウビタキやルリビタキ、シロハラ、ツグミなどが、また常連のコゲラやメジロ、ハクセキレイ、カワラヒワ、モズなどが姿を見せました。ふもとの北浦池ではカルガモが2羽仲良く泳いでいたほか、カイツブリが観察できました。

また、昨年12月の活動日に観察したヌートリアの子供たちも成長した姿を見せ、カルガモの前を悠々と泳ぐ様子も観察しました。

ジョウビタキのペア



ツグミ(左)とシロハラ(右)のツショット



ルリビタキ(メス)



コゲラ



メジロ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

ハクセキレイ



カワラヒワ



モズ



2羽のカルガモ



成長したヌートリアの子供たち



カイツブリ



カルガモの前を悠々と泳ぐヌートリア

